第 23 回ゆい歴史散歩

オルセーの名画と、徳川ゆかりの上野を歩く

～ミレー《落穂拾い》23 年ぶりの来日と、紅葉の上野の杜～

今回のテーマは、「オルセーの名画と、徳川ゆかりの上野を歩く」です。
開館 100 周年を迎えた東京都美術館の「オルセー美術館所蔵 いまを生きる歓び」展では、23 年ぶりに来日したミレー《落穂拾い》をはじめ、ゴッホ《星月夜（ほしづきよ）》など、19 世紀の画家たちが身近な「いま」を描いた名作に出会えます。
また、天海僧正（てんかいそうじょう）が開いた寛永寺で、創建 400 年を記念して奉納された天井絵「叡嶽双龍（えいがくそうりゅう）」を拝観し、清水観音堂（きよみずかんのんどう）、不忍池弁天堂（しのばずのいけべんてんどう）、上野東照宮（うえのとうしょうぐう）と、紅葉に彩られた徳川ゆかりの名所をめぐります。皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

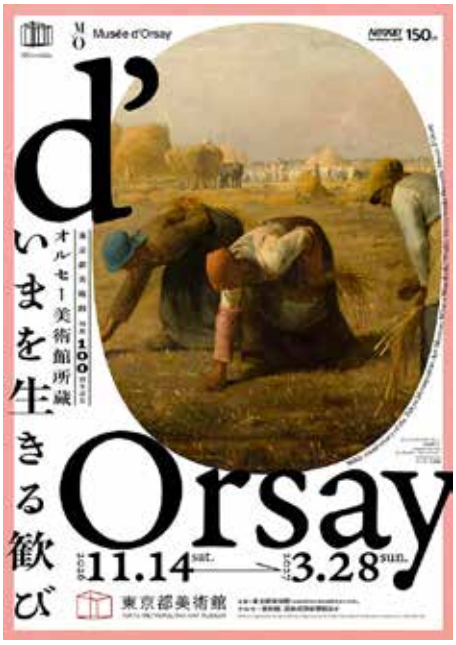
1	開催日	2026 年 12 月 11 日（金）
2	集合時間 / 場所	JR 上野駅 公園口改札前 午前 10 時
3	解散場所 / 時間	東京都美術館 1 階　15 時 30 分頃
4	参加費	6,000 円（当日集金。拝観料・観覧料・昼食代を含みます）
5	昼食	東京都美術館 レストラン「ミューズ」
6	申込締切り	2026 年 12 月 1 日（火）右下の QR コード、またはメールで

地点	場所	見どころ・ポイント
START	JR 上野駅 公園口	午前 10 時集合
10:20	寛永寺 根本中堂	天井絵「叡嶽双龍」を拝観
11:10	清水観音堂・不忍池弁天堂	舞台造りの観音堂と、池に浮かぶ弁天さま
11:40	五條天神社・花園稲荷神社	医薬の神様と、赤い鳥居のお稲荷さま
12:10	上野東照宮	金色に輝く社殿（国の重要文化財）
12:50	東京都美術館	昼食（ミューズ）、オルセー美術館展を鑑賞
GOAL	東京都美術館 1 階	15:30 頃解散

【ご参加にあたってのお願い】
・歩きやすい靴・服装でお越しください。
・年齢のわかるもの（マイナンバーカード、運転免許証など）をお持ちください。
・雨天の場合は、中止または内容を変更することがあります（前日までにご連絡します）。
・歩行は約 8,000 歩です（時刻・歩数は目安です。下見のあと詳細をお知らせします）。

NPO法人
ゆい思い出工房

NPO 法人ゆい思い出工房
〒279-0021　千葉県浦安市富岡 3 丁目 3 番 C-211 号
公式サイト：https://www.yui-omoidekobo.org
メールアドレス：info@yui-omoidekobo.org



© Musée d'Orsay, Dist. GrandPalaisRmn / Patrice Schmidt / distributed by AMF

オルセー美術館所蔵　いまを生きる歓び

パリのオルセー美術館は、19 世紀の芸術の宝庫です。東京都美術館の開館 100 周年を記念する本展では、そのコレクションから絵画、彫刻、工芸、写真など約 110 点が来日します。

見どころは、23 年ぶりの来日となるミレー《落穂拾い》。畑に残った麦の穂を拾い集める 3 人の農婦を描いた名作です。さらに、16 年ぶりに来日となるゴッホ《星月夜（ほしづきよ）》（南フランス・アルルのローヌ川の夜景）とゴーガン《アレアレア》。ルノワールやモネの作品も並びます。

テーマは「いまを生きる歓び」。画家たちが見つめた身近な日常と、そこに息づく小さな幸せを、7つの章でたどります。

会期：2026 年 11 月 14 日(土)～ 2027 年 3 月 28 日(日)
会場：東京都美術館（上野公園）

※寺社の写真はイメージです。11 月 20 日の下見のあと、実際に撮影した写真に差替える予定です。



【寛永寺 根本中堂】
1625 年、天海僧正が徳川家の菩提寺として開いた寺で、「東の比叡山」を意味する東叡山と号する。根本中堂の天井には、創建 400 年を記念して手塚雄二画伯の「叡嶽双龍」が描かれた。



【清水観音堂】
1631 年、天海僧正が京都の清水寺にならって建てた、舞台造りのお堂（国の重要文化財）。歌川広重の浮世絵に描かれた「月の松」が復元されている。



【不忍池弁天堂】
天海僧正が琵琶湖の竹生島に見立てて不忍池に島を築き、弁財天をまつったのが始まり。現在のお堂は戦後に再建されたもので、池越しの眺めが美しい。



【上野東照宮】
徳川家康をまつる神社。現在の社殿は 1651 年に 3 代将軍家光が建て替えたもので、金色殿とも呼ばれる豪華な造り（国の重要文化財）